

ワールド・リート・セレクション(米国)の運用状況

ワールド・リート・セレクション(米国) 愛称 十二絵巻
追加型投信／海外／不動産投信

2021年5月28日

当レポートでは、基準価額の推移、年初来の米国リート市場の動き、ファンドの運用状況、米国リート市場の見通しと運用方針をご案内します。

【基準価額の推移】

ワールド・リート・セレクション(米国)の2021年5月24日時点の基準価額は1,946円となりました。年初来の基準価額の変動につきましては320円の上昇（当該期間の分配金合計50円を考慮すると370円の上昇）となりました。また、年初来の分配金再投資基準価額の騰落率につきましては、+23.1%となりました。

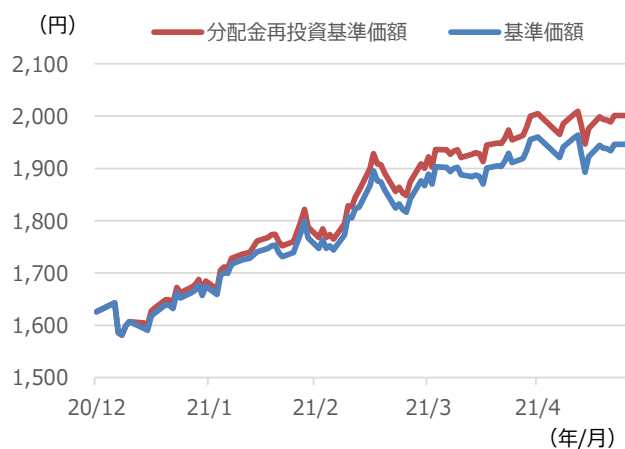
【年初来のマーケットの動き】

米国リートは上昇基調を辿る展開となりましたが、5月に入り、高値圏でもみ合う展開に

米国リート市場は、2021年に入り、追加経済対策の成立期待が高まったことや、主要リートによる2020年10-12月期の決算発表で好決算が散見されたことなどが好材料となり、上昇しました。その後は、3月に入り、大規模な追加経済対策が成立したほか、ワクチンの接種が進展して経済活動正常化による景気回復期待が高まったことなどから、上値を試す展開となりました。5月に入ってから、物価上昇懸念等を背景に長期金利が上昇したことを受けて、中旬にかけて、高値圏でもみ合う展開となりました。その後は、長期金利の上昇が一服する中、経済活動正常化への期待が高まり、底堅い動きとなりました。

基準価額の推移

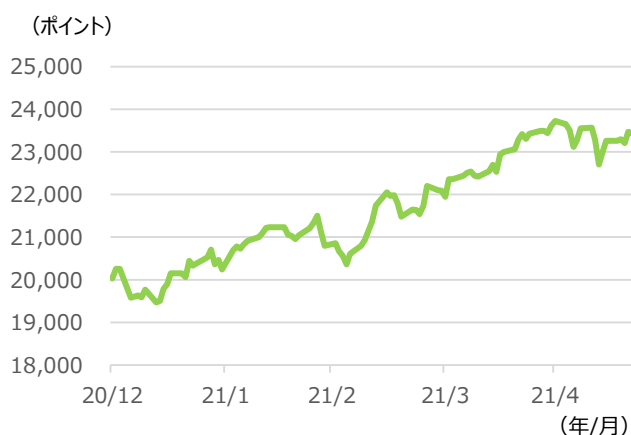
(日次：2020年12月30日～2021年5月24日)



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、2020年12月30日を起点として算出しております。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

米国リート市場の動き

(日次：2020年12月30日～2021年5月24日)



※米国リート：FTSE NAREIT ALL Equity REITS TR Index
※現地1営業日前の数値

(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

【運用経過と要因分析】

年初はホテルやヘルスケアをオーバーウェイト、オフィスや小売りをアンダーウェイト

2021年初来の運用につきましては、当ファンドが主要投資対象としている「USリート・マザーファンド」（以下、マザーファンド）では、セクターウェイトにおいて、年初は、新型コロナウイルスのワクチン普及により、宿泊需要の回復が期待されるホテルセクターや、集団感染リスクの低下で高齢者施設の稼働率改善が見込まれるヘルスケアセクターなどを参考指数に対してオーバーウェイトとした一方、在宅勤務やネット通販の普及で業績回復の遅れが懸念されるオフィスセクターや小売りセクターをアンダーウェイトとしました。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「ワールド・リート・セレクション(米国) 愛称 十二絵巻」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ワールド・リート・セレクション(米国) 愛称 十二絵巻
追加型投信／海外／不動産投信

1月後半以降、住宅、小売りを引き上げ、データセンター、ヘルスケアを引き下げ

1月後半以降は、経済活動正常化に伴う雇用情勢の改善が需要回復要因になると見込まれる住宅セクターや、財政出動による現金給付が追い風となる小売りセクターをオーバーウェイトに引き上げた一方、コロナ禍で選好されたデータセンターセクターや産業施設セクターに加え、ヘルスケア関連施設運営業者の業績回復が想定よりも遅れており、コロナ沈静化による政府支援一巡の影響も懸念されるヘルスケアセクターなどをアンダーウェイトに引き下げました。なお、産業施設セクターはネット通販向けに物流センターの旺盛な需要が続いていることから、4月以降は、ニュートラルに戻しました。

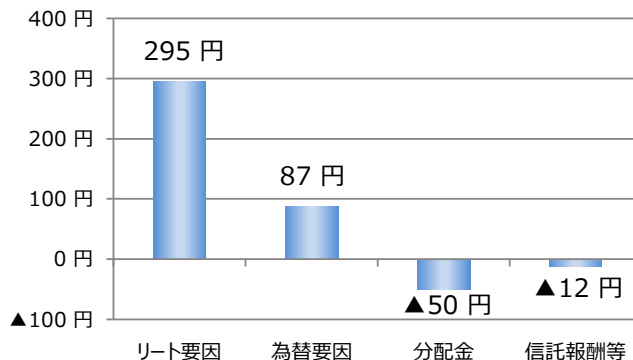
個別銘柄では、オフィスセクターのアレクサンドリア・リアル・エス・テート・イクイティーズやヘルスケアセクターのオメガ・ヘルスケア・インベスターズなどを売却した一方、住宅セクターのイクイティ・レジデンシャルやホテルセクターのライマン・ホスピタリティ・プロパティーズなどを買い付けました。

リート要因、為替要因ともにプラスに寄与

当ファンドの基準価額の変動要因としては、リート要因では、経済活動正常化による業績回復期待が高まった小売りセクターのサイモン・プロパティーズ・グループや、ネット通販市場の拡大が追い風となった産業施設セクターのプロロジスなどの上昇がプラスに寄与しました。また、為替要因では、大規模な財政出動や新型コロナウイルスのワクチン普及等を背景に、米国で景気回復期待が高まり、対円で米ドル高となったこともプラスに寄与しました。

基準価額の要因分析

基準価額は、2020年12月30日の1,626円から
2021年5月24日の1,946円まで320円上昇



※小数点以下を四捨五入しているため、差額合計が合わない場合があります。

※基準価額は1万口当たりです。

(基準価額の要因分析とは)

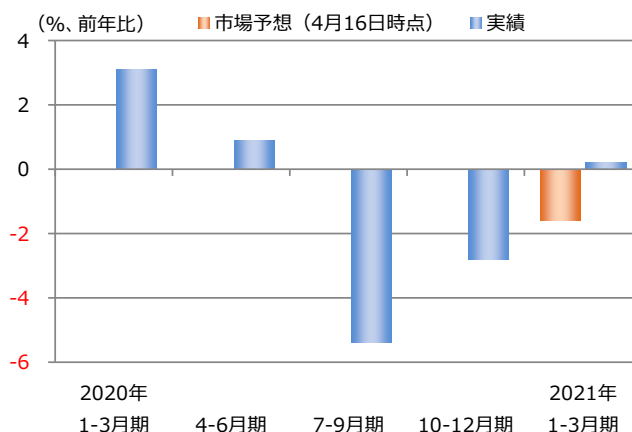
※計算期間における基準価額の変動要因をリート(不動産投信)、為替、分配金、信託報酬等に分けて1万口当たりで表示したものです。

※上記の数値は、日々の資料を基に簡便法により試算した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

※リート要因とは、リート(不動産投信)の配当等収益及び売買損益(評価損益を含む。)等が基準価額に与えた影響額です。

米国主要リーートの1口当たりFFO伸び率の推移

(四半期: 2020年1-3月期~2021年1-3月期)



※FTSE NAREIT ALL Equity REITS TR Indexの構成銘柄を対象に、FFO実績、予想がマイナスの銘柄を除いた、前年との比較が可能な銘柄について集計(時価加重平均)。

※FFO(Funds From Operation)とは、リートが賃料収入からどれだけのキャッシュフロー(現金収入)を得ているかを示す数値で、リーートの収益力を表すものと考えられています。不動産売却損益を除いたリーートの純利益に、減価償却費を加算した金額になります。FFOを利用すると同一基準でリートごとのキャッシュフローが比較できます。

(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

【今後の見通し】

米国リート市場は、当面は物価上昇懸念等を背景とした長期金利の急上昇に対する警戒感が残ると見られるものの、財政出動による景気の下支え効果に加え、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展を背景に行動制限の緩和が見込まれ、事業環境改善が進みリーートの業績回復につながるの期待が相場を下支えする要因となり、底堅い展開になると予想されます。また、インフレヘッジに有効な資産としてのリーートの投資魅力も支援材料になると考えられます。

米国リーートの決算は市場予想を上回る内容

米国主要リーートの2021年1-3月期決算が出そろい、リーートの収益力を表す1口当たりFFOは、ワクチンの普及等で経済活動の再開が始まり、リーートの事業環境が改善したことから、前年比+0.2%と小幅ながらも3四半期ぶりに増加へ転じました。また、約77%の銘柄の1口当たりFFOが、市場予想を上回るなどリーートの業績が順調に回復していることが示されました。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「ワールド・リート・セレクション(米国) 愛称 十二絵巻」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ワールド・リート・セレクション(米国) 愛称 十二絵巻
追加型投信／海外／不動産投信

米国リートの業績回復が続く見込み

米国の実質国内総生産(GDP)は、ワクチンの普及や財政出動等を背景に早ければ2021年4-6月期にも過去最高であった2019年10-12月期を超えると見られており、景気回復が続くと考えられます。

こうした中、リートが主に投資する商業用不動産市場では、賃貸需要の回復などファンダメンタルズの改善が続く見込みです。また、2021年通期の1口当たりFFOの見通しを主要リートの約63%が上方修正しており、リートの経営陣が事業環境について、総じて強気に見ていることから、業績回復が続くと考えられます。

ホテル、住宅、小売りセクターが業績回復の牽引役に

セクター別では、ホテルセクターや都市部の住宅を中心とした住宅セクターは、感染リスクの低下により物件稼働率が改善すると考えられます。また、小売りセクターでは、ネット通販の普及による業績への影響は残るものの、客足の増加等により商業施設において店舗売上高の回復など事業環境の改善が続く見込みで、こうしたセクターを中心にFFOの回復が継続すると予想されます。ホテルセクターは、2020年にマイナスとなったFFOがプラスに転換すると思われます。

上昇基調が続くと見込まれる米国リート市場

主要米国リート指数であるFTSE NAREIT ALL Equity REITS Indexは、2021年5月21日時点において、コロナ前のピーク水準(2020年2月14日)を2.1%下回っています。セクター別に見ると、コロナ禍の影響を相対的に大きく受けたセクターが総じてコロナ前のピーク水準を下回っていることが要因として挙げられます。

オフィスセクターやヘルスケアセクターは相対的に業績回復に時間を要すると見られるものの、今後は経済活動正常化の進展を背景に小売り、ホテル、住宅セクターなどの本格復調が見込まれ、米国リート市場全体の上昇につながると考えられます。

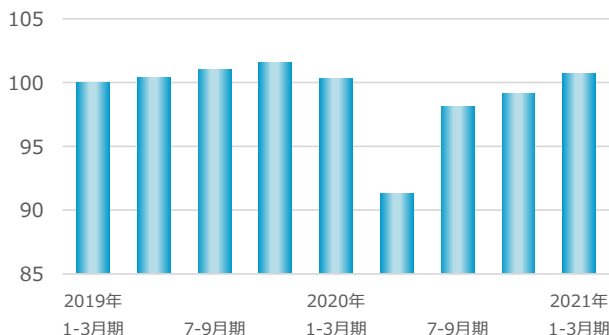
物価上昇への懸念が残る見込み

米国では、4月の消費者物価指数(CPI)が前年比で4.2%上昇と市場予想を大きく上回りました。足元の物価の急上昇は前年の低迷や供給制約による一時的な要因があると見られますが、景気回復が続くと見込まれる中、物価上昇への懸念が残ると思われます。

米国実質GDPの推移

(四半期：2019年1-3月期～2021年1-3月期)

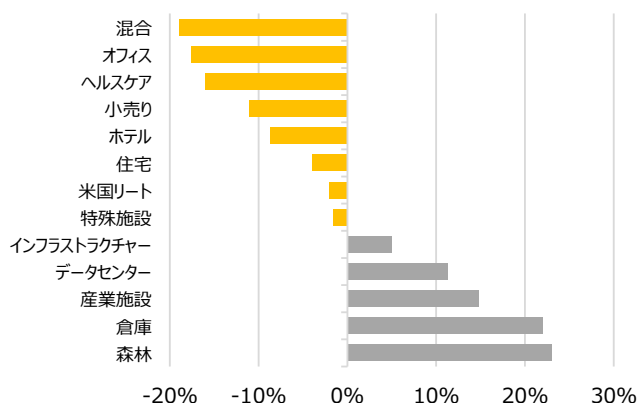
(2019年1-3月期を100として指数化)



(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

米国リートのセクター別騰落率

(対象期間：2020年2月14日～2021年5月21日)



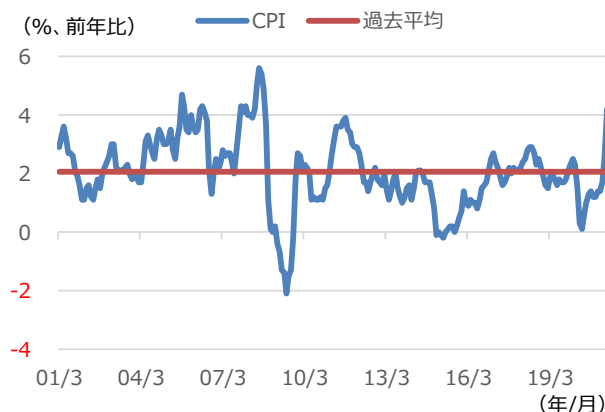
※NAREIT業種分類

※米国リート：FTSE NAREIT ALL Equity REITS Index (キャピタルリターンベース)

(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

米国CPIの推移

(月次：2001年3月～2021年4月)



(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「ワールド・リート・セレクション(米国) 愛称 十二絵巻」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ワールド・リート・セレクション(米国) 愛称 十二絵巻
追加型投信／海外／不動産投信

インフレヘッジに有効な資産としてリートの投資魅力に注目

不動産市場では、物価が上昇すると、通常はリートの保有資産価値の算定根拠となる不動産の価格や賃料が上昇しやすくなります。特に、足元の物価上昇を相対的に早く賃料に転嫁できるホテルや住宅など、テナントとの賃貸借契約期間が短いセクターが物価上昇の恩恵を受けやすくなると考えられます。

実際、物価上昇率が過去の平均(2%)を上回る局面では、米国リートは他の金融資産と比較して良好なパフォーマンスとなりました。こうしたことから、物価上昇が懸念される局面では、インフレヘッジに有効な資産としてリートの投資魅力が高まりやすくなると考えられます。

※日本株式は円ベース、他の金融資産は米ドルベース

※米国リート: FTSE NAREIT ALL Equity REITS TR Index、世界株式: MSCI World Net Total Return USD Index、米国株式: S&P500トータルリターン指数、日本株式: TOPIX配当込み株価指数、欧州株式: ユーロストック50(リターン)指数、世界債券: The Bloomberg Barclays Global Aggregate Index

長期金利の上昇ペースは緩やかになると想定

金融市場では、物価上昇等を背景に米連邦準備制度理事会(FRB)による金融政策の正常化が前倒しされるとの思惑が広がるなど、長期金利の急上昇に対する警戒感がリート価格の上昇を抑える要因になると考えられます。

一方、FRBは足元の物価急上昇は一時的と見て、強力な金融緩和政策をしばらく維持する姿勢を示しています。今後の景気や物価動向に左右されると思われますが、仮にFRBが政策スタンスを変更する場合、混乱を避けるため、金融市場に対し丁寧に説明しながら慎重に行くと見込まれることに加え、マイナス金利政策を継続している日本や欧州などの海外投資家を中心に米国債に対する旺盛な投資需要が期待できることから、中長期的に長期金利の上昇は緩やかなペースになると予想されます。

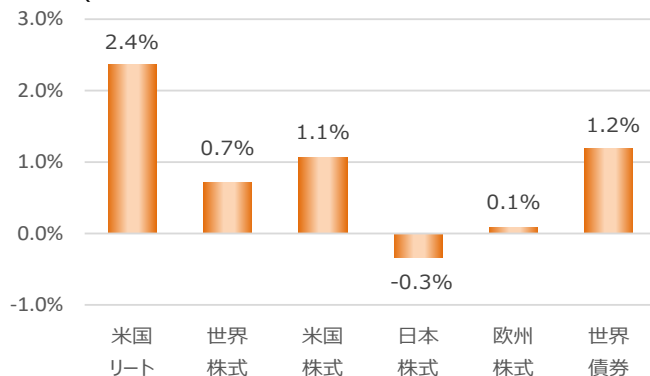
【運用方針】

ホテル、住宅、小売りに強気、一方、オフィス、データセンター、ヘルスケアに弱気

マザーファンドでは、新型コロナウイルスのワクチン普及により、旅行者や来店客数の増加など事業環境の改善が期待されるホテルセクターや小売りセクターに加え、経済活動正常化に伴う雇用情勢の改善が需要回復要因になると見込まれる住宅セクターなどを参考指数に対してオーバーウェイトとする方針です。一方、在宅勤務の普及などの影響で業績回復に時間がかかると見込まれるオフィスセクターに加え、コロナ禍で選好され、相対的に割安感に乏しいと見られるデータセンターセクターや、コロナ沈静化による政府支援一巡の影響が懸念されるヘルスケアセクターなどに対して弱気な見方を継続しており、慎重な姿勢で臨みます。個別銘柄については、質の高い資産を保有し、財務状況が健全で安定的なキャッシュフローが期待できる優良銘柄を中心に投資する方針です。

**CPIが過去平均を上回る局面における
金融資産別の平均騰落率(四半期ベース)**

(対象期間: 2001年1-3月期~2021年1-3月期)



(出所)リー・アメリ エル・シーのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

米国10年国債利回りの推移

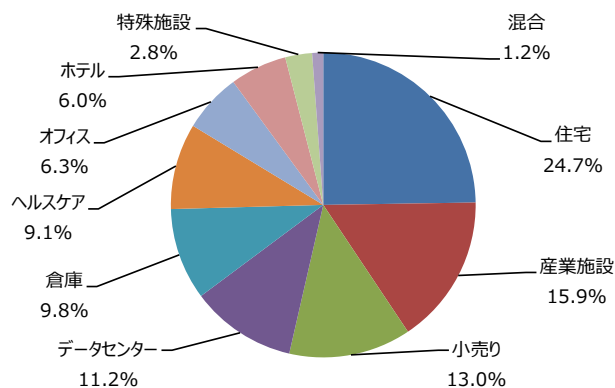
(日次: 2019年4月1日~2021年5月21日)



(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

マザーファンドの保有リートセクター別構成比率

(2021年5月24日現在)



※比率はUSリート・マザーファンドの保有リート全体に占める各セクターの構成比です。
※比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「ワールド・リート・セレクション(米国) 愛称 十二絵巻」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ワールド・リート・セレクション(米国) 愛称 十二絵巻
追加型投信／海外／不動産投信

設定来の基準価額の推移

(日次：2003年9月30日～2021年5月24日)



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(作成：運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「ワールド・リート・セレクション(米国) 愛称 十二絵巻」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ワールド・リート・セレクション(米国) 愛称 十二絵巻
追加型投信／海外／不動産投信

ワールド・リート・セレクション(米国) 愛称 十二絵巻に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。ファンドは、米国の不動産投資信託証券等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「不動産投資信託証券のリスク（価格変動リスク）、（分配金（配当金）減少リスク）」、「為替変動リスク」があります。その他の変動要因としては、「不動産投資信託証券のその他のリスク（信用リスク、業績悪化リスク、自然災害・環境問題等のリスク、法律改正・税制の変更等によるリスク、上場廃止リスク、流動性リスク）」、「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.3%

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.65%（税抜1.50%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0055%（税抜0.005%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。なお、上場不動産投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場不動産投資信託の費用は表示しておりません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社(1)

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
藍澤證券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
今村証券株式会社	北陸財務局長(金商)第3号	○			
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
エイチ・エス証券株式会社	関東財務局長(金商)第35号	○			
永和証券株式会社	近畿財務局長(金商)第5号	○			
エース証券株式会社	近畿財務局長(金商)第6号	○			
auカブコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
共和証券株式会社	関東財務局長(金商)第64号	○	○		
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
荘内証券株式会社	東北財務局長(金商)第1号	○			
東海東京証券株式会社	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
内藤証券株式会社	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
長野證券株式会社	関東財務局長(金商)第125号	○			
南都まほろば証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
ニュース証券株式会社	関東財務局長(金商)第138号	○	○		
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
光証券株式会社	近畿財務局長(金商)第30号	○	○		
二浪証券株式会社	四国財務局長(金商)第6号	○			
北洋証券株式会社	北海道財務局長(金商)第1号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
むさし証券株式会社	関東財務局長(金商)第105号	○			○
明和證券株式会社	関東財務局長(金商)第185号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
相生証券株式会社	近畿財務局長(金商)第1号	○			
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三京証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○		○	
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
武甲証券株式会社	関東財務局長(金商)第154号	○			



販売会社(2)

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(登録金融機関)					
株式会社イオン銀行	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社西京銀行	中国財務局長(登金)第7号	○			
株式会社十八親和銀行	福岡財務支局長(登金)第3号	○			
PayPay銀行株式会社	関東財務局長(登金)第624号	○		○	

(注) 販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)